



こんな学習をしています！ コミュニケーション力を高める編

コミュニケーション力とは、「対人的なやりとりにおいて、意思疎通、協調性、自己表現能力」のことで、「人との関係性を築く能力」ともいえるものです。

コミュニケーションには、大きく分けて「言語」「非言語」の2つがあります。言語コミュニケーションは、意見、意思、考え、価値観、知識、感情などを言葉で伝えるコミュニケーションです。また「伝える」だけでなく、伝えられた内容を受け取って理解する「聴く」スキルも必要となります。非言語コミュニケーションは、身振り、手振り、表情、視線、声のトーンなど、言葉以外の部分で情報を発するコミュニケーションです。

これらを総合的に習得できるよう「えがお教室」では、以下のような取組をしています。

その1、伝える力を磨く！

えがお教室では、授業の始めに「お話タイム」を設定しています。行事などを話題にしたり、話題に困ったときは、「お話サイコロ」を使ったりして担当者と会話をしています。

相手に伝えるための技術として、まず結論から伝え、それを説明する情報として5W1H (When : いつ、Where : どこで、Who : だれが、What : 何を、Why : なぜ、How : どのように) ボードを手元に考えることでより具体的にイメージすることができます。時に担当者が5W1Hを活用して質問タイムをして会話を膨らませています。

また、相手に話してもらう方法として、自分から情報を開示するという手段もあります。まずは大人がオープンに話すことで、子どもが安心し、心を開いて話がしやすくなるように心掛けています。



その2、聴く力を磨く！

コミュニケーションは、会話のキャッチボールが基本となります。相手の話を途中で遮ってしまうと、結論まで聞かないためにピント外れの会話になってしまったり、自分の言いたいことばかりを言って相手にフラストレーションを与えてしまったりして、コミュニケーションが成立しにくくなります。

傾聴とは、単に話を「聞く」のではなく、相手の話に丁寧に耳と目と心を傾けて、真摯な姿勢で相手の話を「聴く」会話の技術です。このスキルを活用することで、相手を深いレベルで理解できるようになり、信頼関係を構築しやすくなります。

傾聴力を磨くトレーニング方法には、「相づちやうなずきを返す」「アイコンタクトで反応する」「相手の言葉をそのまま返すオウム返しや相手のジェスチャーをまねするミラーリングをする」といったものがあります。「聞きとりワークシート」などを活用しています。



その3、①ーシャル②キル③レーニング(SST)



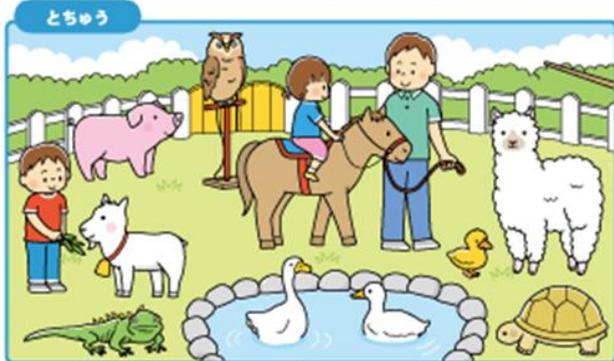
その人が属している集団(学校等)の中で求められている適切な言動がとれる技能が身に付くよう意図的な活動をソーシャルスキルトレーニングと言います。

左記のようなワークシートを使用しています。

友達やおうちの人と一緒にやって、何がなくなったのかことばで説明してみましょう。

ふれあいどうぶつえん 上と下を見くらべるといなくなった どうぶつが それぞれ5ひきいるよ！

第1問



第2問



すいぞくかんにきたよ 上と下を見くらべるといなくなったいきものが それぞれ5ひきいるよ！

第3問

